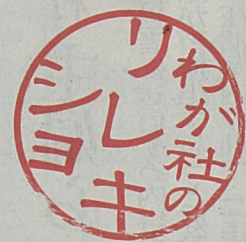


## 就活応援!のページ

しごとプラス<sup>plus</sup>

## 自社PR

創業は1913年。大正、昭和、平成、そして令和と時代を超えて地域の生活基盤整備に取り組んでいる。総合建設業として土木や建築のほか、リサイクル事業やメガソーラーによる再生可能エネルギー事業も手掛けている。

ユーザーに「これはやれますか」と聞かれたら「はい」と即答できるように社員一人一人が日々努力を重ねていこう。そんな心意気から「Yes, We Can」を社のキャッチフレーズにしている。

毎年5人以上を採用している(中途入社含む)。社員の育成に力を注いでいる。若者の雇用管理状況が優れている中小企業として、厚生労働大臣から「ユースエール認定企業」に認定された。

建設業は「女性が少ない」とイメージされがちだが、社員166人のうち36人が女性だ。とりわけ技術系の人材が多い土木部、建築部には女性が計15人在



喫茶店の増築工事が進む福祉施設「ささえ愛みんなの家」。今秋のオープンに向けて笠原建設の社員たちが作業に励む＝上越市大貫1

笠原建設 糸魚川市＝

## 男女問わず活躍できる

籍。今春も両部に1人ずつ女性が入社している。

管理部次長の渡辺誠司さん(49)は「必要な優秀な人材を求めた結果、女性も多く入社していただいたということであり、意識したわけではない。男女問わずやりがいを持って活躍できる」と語る。

## 理想の新入社員像

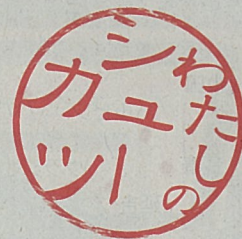
建築や土木の仕事は、依頼主の思いがこもった大切な財産を築くことであり、しっかりと使命感を持って向き合うことが求められる。

新人を積極的に採用しているため平均年齢は40歳弱と若く、途中離職は少ない。

新入社員はすぐに現場へ出される。「現場で仕事を学び、育っていく」と渡辺さん。「現場で戸惑うことがあったら先輩に相談すればいい」。多くの社員は長い月日をかけて経験を積み、技能を高めている。資格の取得も奨励している。例えば重機操作の資格を取得する場合、費用は会社が助成する。

建設業の魅力を少しでも知ってもらおうと、小学生から大学生までインターンシップ(就業体験)も積極的に受け入れている。求める人材について、渡辺さんは「大切な財産を築くことに魅力を感じ、仕事の目的を理解し、努力をする人がいい」と語る。

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| ■所在地  | 糸魚川市能生1155の6                 |
| ■資本金  | 2000万円                       |
| ■売上高  | 41億2362万3000円<br>(2018年12月期) |
| ■社員数  | 166人                         |
| ■主な事業 | 総合建設業                        |



笠原建設 建築部 2019年入社  
佐藤 彩乃さん(22)

## 依頼主の熱い思い形に



今春に入社し、現在は福祉施設「ささえ愛みんなの家」(上越市大貫1)で喫茶店を増築する現場で汗を流している。

日に日に完成へ近づいていくのを実感している。「障害のある方に就労の場を提供したい」という施設運営者の熱い思いを聞き、今の仕事に一段とやりがいと責任を感じるようになった。

上越市出身。小さな頃から家が好きだった。古民家などさまざまな建築物に興味の幅が広がっていき、上越総合技術高校から長岡造形大学へ進んだ。そして、職業として建設に携わることを志して就職活動に臨んだ。

「建設会社に入り、現場に出て仕事がしたい、というのが夢だった。それができる会社が笠原建設だと思

った」。全国的に建設や土木の現場ではまだ女性が少ない中、同社では多くの女性が活躍していると知り、「入社への決意を後押ししてくれた」という。

初めての現場では、分からないことがあるのは当然だ。作業の進め方や機器の使い方など、一つ一つ学んでいく。「先輩が丁寧に教えてくれる。現場で多くを学んでいくことになる」。これは男性の新入社員も同じだ。女性だからといって不利があったり、逆に特別扱いをされることもない。

「身近なところで活躍している女性が多く、男女を問わずに働くのが当たり前の環境になっている。珍しく思われて特別視されることがないのもいい」と笑顔で語る。

(糸魚川支局長・黒島亮)